平成 28 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	東児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課		
所在地	岐阜市大洞桜台1丁目33番地2				
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団				
指定期間	平成24年4月1日~平成29年3月31日まで				
選定方法	✓ 公募	非公募			
料金制	□ 使用料 □ 利用料	金 🗸	料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,845,371円				
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。				
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,659.48㎡ ◇延床面積:315.23㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児集会室、図書学習室、静養室、事務室、駐車場(岐阜市大洞桜台市営住宅駐車場)				

●利用状況

	<u> </u>							
			H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	
	利用者数	来館者数	5,810	5,221	5,915	4,845	5,772	
(.	(単位:人)	移動児童館利用者数	336	371	244	265	270	
	各室稼働	移動児童館実施回数(単位:回)	8	8	5	5	5	
	状況	開館日数(単位:日)	157	151	156	151	156	

●業務の履行確認

	●美務の復行惟認						
区 分	確認事項	履行状況					
利用者 サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画通り実施。 ②所長(常勤)、常勤職員2人。(児童厚生員は、所長を含め3人) ③毎月「おたより」を発行し、担当小学校・公民館・コミセンに配布。芥見東・南自治会へ回覧、児童館ホームページの更新。 ④適切に対応し、防止策を確認。					
自主事業・ 提案事業	_	_					
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、節電を実施。廃材の 活用、有るものの再利用。 ④専門業者による野外遊具の点検。日常的に遊具 の不具合や危険がないか確認。					
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者(本部)並び に岐阜市に要望を提出。					
危機管理• 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練を1回実施、災害や事故等が起こった場合は指定管理者並びに市へ報告。					

●利用者評価

利用者アンケートの 実施状況

【幼児クラブアンケート】

平成28年7月13日、14日 幼児クラブに参加の保護者28人にアンケート(無記名)を実施。 回答数 24人(回答率85.7%)

【児童用アンケート】

平成28年9月1日~25日 児童センターを利用する児童にアンケート(無記名)を実施。 回答数 28人(1年 1人、2年 4人、3年 2人、4年 13人、5年 1人、6年 7人)

【幼児クラブアンケート】

○児童センター運営について

- •施設 満足14人、ほぼ満足6人、普通4人、やや不満0人、不満0人、無回答0人 ・クラブ 満足19人、ほぼ満足4人、普通1人、やや不満0人、不満0人、無回答0人
- 満足20人、ほぼ満足4人、普通、0人、やや不満0人、不満0人、無回答0人
- 〇楽しかったプログラム(複数回答可、上位のみ記載)

すくすくクラブ

コーナーあそび8人、終了式と縁日あそび8人、小麦ねんどあそび7人、七夕かざり作り7人 他

なかよしクラブ

終了式と縁日あそび 16人、説明会とこいのぼり作り 15人、新聞紙あそび 14人、コーナー遊び 14人、パラバルーンであそぼう 14人 他

○参加の幼児クラブ以外で、今後も参加してみたいもの

児童センターまつり(げんきまつり、フェスティバル)16人、自由参加型幼児クラブ(ぴよぴよクラブ) 12人、食育講座や子育て講演会5人

〇クラブで感じたこと

利用者アンケートの 実施結果

- ・毎週参加することで子どもの成長がみられて、みんなと一緒にあそぶことを覚えさせてもらいまし
- いろいろな体験ができてよかったです。とくに製作がいいと思います。
- 毎回いろんな楽しい遊びを準備して頂いて、親子共に楽しめました。家ではなかなかやらないけ

【児童用アンケート】

- 〇児童センターで好きな遊び、 行事
- ・ドッヂボール 7人、・人生ゲーム 5人、・ぬりえ 4人、・フェスティバル 3人、・カロム 3人 他
- ○児童センターでこれからやってみたい、やってほしい遊び・行事
- ・チェス大会 5人、ハロウィン 3人、ソフトクリーム作り 2人、トランポリン 2人 他
- ○児童センターにあると良いなと思うおもちゃや本

(おもちゃ) ホッケー、ふじさんゲーム、ドンジャラ、アンパンマン 他

(本) コナン、スラムダンク、怖いマンガ、サバイバルの本、ちゃお、きららと未来、小説、他

○児童センターについて意見

(好きなところ)・いろいろなおもちゃがあるから好き ・自由で、いろんな遊びができるから楽しい ・みんながすぐに集まって、たくさん遊びがあること・水がおいてあるからいいな他 (きらいなところ)・うるさいところがきらい ・体育館を広くして

○要望⇒回答

・ごはんたべて、そのまま午後もあそびたいです。飲食コーナーがほしい。

利用者からの 要望・苦情と 対処・改善

⇒衛生面や飲食専用スペースが確保できるところに限り、曜日や時間を限定して実施している館も ありますが、市内児童館は原則として飲食禁止になっています。自館では今のところ考えておりま せんが、そういった希望が増えてくるようでしたら検討していきたいと思います。

駐車場をふやしてほしい。

⇒岐阜市とは相談しますが、駐車場が足りないのは幼児クラブの時間帯のみなので、その他の日 にもたくさん利用してください。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

	生日の歴史	&準に基つく評価 ┃		評価		
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準		所管課	評価 委員会
公平性透明性	住民の平等利 用が確保され ること	平等利用を確保するための体制、 モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催		Α	Α
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	Α	А	Α
			区分評価			Α
	事業計画書の 内容が、対用 (設置目的)を 最大限発するものである こと	既存業務の改善、工夫又は新規事 業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	А	А	Α
		利用者ニーズ、苦情などの把握方 法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施・苦情・クレームへの着実な対応		Α	Α
		利用者に対するサービス向上の方 策(窓口応対、プロモーション、設備 の整備など)			Α	Α
効果性		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	Α	S	S
		サービスの質を確保するための体 制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	Α	Α	Α
		施設の効用(設置目的)を最大限発 揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	А	А	Α
			区分評価			Α
	事業計画書の 内容が、管理経 費の縮減が図ら れるものである こと	指定管理経費の妥当性(収支計画 の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	Α	А	Α
効率性		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	Α	А	Α
			区分評価			Α
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	Α	Α	Α
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の 実施	Α	Α	Α
安定性 安全性		スタッフ(採用予定者も含む)の人 材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	Α	Α	Α
		リスクへの対応方策(防止策、非常 時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク) や非常時対応のマニュアルの整備・リスク防止策の実践	Α	А	Α
		区分評価				Α
区分	選定基準	評価項目 具体的な業務要求水準		評 価 指定 記集		
区刀			共体的公未伤安水小年		所管課	評価 委員会
	ある特定の地域 (以下「地元」と いう。)の振興、	地元の法人その他の団体の育成 (一部業務の再委託先)、地元住民 の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・ 障がい者等の活用	Α	А	Α
貢献性		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	Α	Α	Α
	活性化などに貢献できるもので あること	区分評価			А	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

□4年生以上からなるボランティアのお手伝い隊として、1~3年生の子が入れる東児童センターボランティア(EJV)ジュニアをつくった。3人ではあるが、朝の掃除やおもちゃの片付けの手伝いを行ってくれた。
□2学期の幼児クラブ(2歳~就園前まで)の参加者が増えると予想されたため、1学期の最終日のアンケートの際、保護者の方に口頭でその旨をお話し、意見をきいた。それらの意見を基に2学期の募集を一部変更し、できるだけ大勢の方が参加できるようにした。
□児童対象の食育クラブ(ハッピーフードプロジェクト)の活動を上半期で8回おこなった。
□利用者の方からスマートフォンでおたよりが見ることができないと聞き、パソコンからもその他からも見ることができるよう修正した。

前回までの意見を 踏まえた取組み状況 口児童に対し、利用者アンケートを実施した。

□遊戯室の使用の仕方を子どもたちと話をしながら変えていき、できるだけいろいろな子が平等に 使えるようにした。 □児童センターで実施している0歳児の広場を岩・芥見校区の方にも知っていただき、乳児の利用

が増えることを願い、保健センターに年間予定表の配布を依頼した。

今後の取組み

口ボランティアやお手伝いの機会が減っているので、増やしていきたい。

口幼児の利用が増えるよう努めたい。

□児童の利用者アンケートの結果をふまえ、行事の実施や玩具、本の購入を考えていく。

●所管課の意見

毎月の児童センターのおたよりを担当小学校へ配布のほか、地域の公民館・コミュニティセンターに配置、各自治会に回覧 の依頼、また、ホームページにも行事案内掲載するなどの広報活動を行った。

児童センターの小学校4~6年生ボランティアが地域のグループホームへの訪問を行うほか、今期より小学校1~3年生のジュニアボランティア隊(EJV)を作り、児童センターの掃除やおもちゃの片付けの活動を行うなど、小学生ボランティアの育成にも努めている。また、高齢者ボランティアが児童センターで子どもたちにチェス指導や卓球指導を継続的に行っているほか、地域の防災訓練や祭りに参加するなど、地域との交流も積極的に図っている。

職員体制や経営状況についても問題なく運営されている。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・小学校低学年からのボランティア活動については、非常に良い取組であり、今後も継続して行ってほしい。
- ・高齢者ボランティアの卓球・チェス指導や、地元の祭り・防災訓練参加など地域との連携を積極的に図っており、今後も継続して頂きたい。
- ・施設内での飲食については各施設の利用者アンケートなどにより要望も多い為、安全面、衛生面に配慮し、可能な限り取り組んで頂きたい。
- ・利用者アンケートについて、「満足」・「不満」・「やや不満」などの選択肢があるが、ごく少数ではあるが「不満」・「やや不満」などの意見は業務の改善や利用促進の貴重な意見であるため、「不満」・「やや不満」の意見の場合、「なぜ不満であるのか」、「どうなるとよいのか」を聞き取れるようなアンケートの仕組みにしていただきたい。
- 管理運営は適正に行われており、良好と認められる。